パフォーマンス・コーチング研修

命令や説得などのマネジメント手法はもう限界！
現場の意欲を引き出すコーチング技術が人を動かす！

あどばる経営研究所

本研修の特徴

1 パフォーマンス・コーチングの４つの基本姿勢を身につけます！

①自立／自律支援
②プラス志向
③イメージの創造
④協働環境の確立
これらの４つの基本姿勢はパフォーマンスを引き出し、メンバーのやる気が生まれ、コーチングの成果を最大限にする原動力となります。

2 パフォーマンス・コーチングの４つの基本スキルを体得します！

コーチングの基本は、相手のやる気と可能性を引き出すことから始まります。そのために必要な４つの基本スキルを豊富な事例を通じてケーススタディ、ロールプレイングで体得して頂きます。
基本スキル
①やる気と可能性を引き出す質問をする
②気持ち、心の動きを傾聴する
③心で観る
④支援していることを伝える

3 高業績のチームを生み出す支援型リーダーを育成し、会社を変えます！

勝ち組への決め手は変化対応力と個別対応力です。各組織のリーダーが中心になり高パフォーマンス型のチーム形成のためにリーダーシップを発揮することがポイントとなります。
支援型リーダー（メンター）の育成により、組織風土を革新し会社を変えることが可能となります。

研修内容

４時間／回×５回＋オプション

オリエンテーション	第１部 パフォーマンス・コーチングの基礎	第２部 パフォーマンス・コーチングの実践	第３部 コーチング演習	第４部 メンタリング手法	第５部 パフォーマンス測定	第６部 改善活動実践指導 オプションテーマ
研修のねらい、スケジュール、心構えなどについて注意し、価値観を共有します。	○パフォーマンスコーチングとは ○成功するコーチングの基本姿勢 ○コーチング基本スキルの演習 ○メンター、メンタリングとは	○行動タイプ別コーチング手法 ○ＤｉＳＣによる自己診断 ○リーダー演習 ○効果的リーダーシップを発揮するための演習 ○効果的に動機付けを与えるための演習	○ケーススタディを通じてロールプレ形式により演習	○意識改革の必要なリーダーとメンバー○メンタリングプログラム導入の実際 ○戦略的メンタリングモデルとは？ ○メンタリング演習 ○職場の意識改革	○コーチング効果と成果を測定する必要性 ○パフォーマンス測定手法 ○パフォーマンスを高めるには・・？ ○パフォーマンス測定事例演習	○改善小集団の編成、改善テーマの設定、改善計画の作成、改善の実践指導、改善活動の評価など実際の活動についてご指導致します。

研修の進め方

1 講義の概要と講師の説明

その日の講義の概要を講師がかいつまんで説明します。副資料として資料集を見て頂きますが、講義及びテキストの理解を深めて頂くために有効活用します。

2 基本演習

各章の内容について、演習事例、ワークシートなどを用いながら、ロールプレイングにより演習し、知識をスキルに変えていきます。

3 総合演習

ケーススタディ主体で、実際の職場を想定したケーススタディ資料によりコーチングの実践を演習により行います。演習後の自己評価、他人評価を通じてコーチングスキルを完成して頂きます。

4 討議と感想

演習の結果を基にして、メンバー全員による討議を行います。テキスト、資料集、会議の振り返りチェック、講師の話を参考にして、受講生自身や会社・職場の現状認識や方向性、具体的な解決策などをまとめて頂きます。

5 職場での実践と研修フォロー

毎回の研修会で、自分の職場で実践して頂く個人課題が出されます。これを自分の職場で実践して頂いた結果を次回の研修会で発表して頂きフォローします。座学と実践を繰り返すことにより、真の実務知識を身につけて頂きます。